

資料4

参考事例の 居宅サービス計画書（1）

初回・紹介・継続

認定済・申請中

利用者名 ○ 殿 生年月日 昭和19年〇月〇日 住所 茨城県 〇〇市 ××町 〇丁目—〇

居宅サービス計画作成者氏名 茨城 リハ子

居宅介護支援事業所名及び所在地 居宅介護支援 涼風苑 龍ヶ崎市貝原塚町3689

居宅サービス計画作成（変更）日 H28年4月〇日 初回居宅サービス計画作成日 H28・5・〇

認定日 H28年〇月〇日 認定の有効期間 H28年〇月〇日～H28年〇月〇日

要介護状態区分	要支援・要介護1・要介護2・ <u>要介護3</u> ・要介護4・要介護5
利用者及び家族の生活に対する意向	<p>(御本人) やっと自宅へ帰ることができてうれしいが 夫に負担をかけてしまうことは心苦しい。トイレだけは早く自分で出来るようになりたい。麻痺を改善して楽に歩けるようになり、店（酒屋）の仕事を出るだけやっていきたい。お客さんに励まされてうれしかった。孫たちと旅行に行ったり、商店会の仲間との交流も生きがいなので また普通の暮らしに戻りたい。</p> <p>(ご家族) 夫：ちょっと焦りすぎじゃないかと心配している。うっかり転んでしまわないように 慎重に行動してほしい。家の中だけでも転ばずに歩いてほしい。店番くらいをしてくれると助かるが 無理するより 健康に ゆっくり過ごして欲しい。</p> <p>娘（長女・次女）働き者だったから 何でも自分でやろうとすることが心配。出来るだけ両親を応援して 父がお店を続けられるように願っている。母には焦らずに 機能訓練を続けて 良くなってほしい。</p>
介護認定審査会の意見及びサービスの種類の指定	《サービス提供上の留意事項》
統合的な援助の方針	<p>病院でのリハビリ訓練をさらにすすめて 生活の中で自分も取り組む形で しっかり続けていきましょう。活動的に過ごして体力を伸ばしましょう。転ばずに屋内を歩き トイレで排泄できることを第一に 自宅でも入浴できるよう練習を重ね あせらずに 少しずつ お店でお客さんと交流できると良いですね。退院直後ですから健康管理は特に大切です。自分でも血圧を記録し、食生活や、休息を心がけ、無理をせずに過ごしましょう。T 医院の先生とよく相談しながら健康管理をしていきましょう。半年後にお店の仕事や簡単な家事が出来て、ご家族で旅行にも気軽に行けることを目指し運動・練習取り組んでいきましょう。《緊急連絡先1夫携帯 〇〇番・2長女携帯〇〇番・3自宅 〇〇番 医療相談 主治医T 医院 〇〇番》</p>